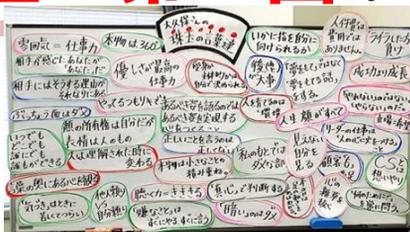


大久保寛司氏連続講座・第1回!

いよいよ連続講座第1回目が4月11日に開催されました。大久保さんからいきなり振られるシンキングタイム。何を答えてもある意味正解!の大久保式Q&Aに、斬新な答えも続出して盛り上がりました。ますます深まる大久保ワールドを、是非ご体験下さい。



【運営事務局】
CSアップ&集客スペシャリティ
株式会社 エイム・トゥ
TEL:048-650-6960
FAX:048-645-1051
〒330-0843 さいたま市大宮区
吉敷町1-133-1 ワライビビル4F

終了



講師：大久保寛司さん

「人と経営研究所」所長。人と経営のあるべき姿を探求し、企業・医療関係・自治体・教育関連などへの人材育成支援に尽力。「教えないで、気づきに導くプロ」として全国各地に熱烈なファンを持つ。

プレ講座 2016年3月15日(火)時間 14:00~17:30

テーマ『人が輝く職場づくり』

連続講座 第1回 4月11日(月)『スタッフが思い通りに動くには』

受付中

第2回 6月21日(火)『チームワークの質を高めるには』

第3回 7月19日(火)『スタッフの能力を伸ばすには』

第4回 8月24日(水)『自分自身の能力を高めるには』

第1回連続講座の中身を少しご紹介します。「やっぱり!」と気付いた方はすぐに参加しましょう。そして参加者の皆さま、次回は大久保寛司さん書籍「考えてみる」を持参してください! コレ⇒



■人の育成

育てるのではない。育っていくのだ。

植物に「育て!」って怒鳴らないです。育ててほしかったら水をやり肥料をやり光にあてます。育つ環境を用意することです。そして植物が枯れたら「枯れやがって!」と怒るんじゃなくて、悲しい気持ちになりますよね。

人も同じ。育つ環境を用意し、うまく育たなかったら育たなかった人を責めるのじゃなくて、用意した環境の過不足を自分で反省するんです。

それぞれの人にそれぞれの適切な環境があれば、人はどんどん「育っていく」ものです。



■「つもり」

リーダーはいつもやってる「つもり」。 「つもり」に意味なんかありません。教えてる「つもり」、言った「つもり」、大事にした「つもり」。みんな「つもり」が大好きで、それが形にならないと不満を持ちますが、そもそも「つもり」に意味なんてありません。結果として表れないのは、「教えてないのと一緒に」「言っていないのと一緒に」「大事にしてないのと一緒に」。シンプルにあなた(リーダー)のせいです。

■忍耐力をつける方法

「耐えるんです。」
心の筋力を付ける事です。

忍耐力を付ける方法は「耐える」事です。筋力が付けば重いものを持つ事ができ、しかも「重たいと感じない」。「耐えてるけど辛い」という時点でまだ力が付いていないんです。

心の筋力が付いたら耐える必要がなくなります。

■講座から出た「目からうろこ」の言葉達

仕事は結果が全てです。人が人を変える事はできない。その人が自分で変わるのだ。

怒りを出して良くなる事は絶対にない。本当に人が動く時は「自ら考え、行動している時」

その人の事「分かる」と腹立たなくなるんです。「腹立つ」のは「ちゃんと分かっていないから」です。

■経営者の視点

経営者は仕事とお客様の事は良く見えています。でも、もう1つ見るべきなのは「スタッフがどんな想いで仕事をしてるか。」

「公私混同するな」って考え方はムチャです。公私混同はするもの。公私が元気だから気持ちよく働いてもらえる。それを理解して、スタッフが今どんな気持ちの状態なのかを知る努力をしましょう。それには、物事を相手側から見て下さい。ききき

そして3つの「き」で聴き切って下さい。

■身体の比重

あなた(リーダー)は顔中、または全身「口」になっていませんか?

経営者やリーダーは「口」が発達しすぎです。ちゃんと身体の比重通りにいきましょう。耳は2つ、口は1つ。言うより倍は聞かなきゃいけないって事です。心に届かない正しい事を言うのはやめて、その人を理解しようとしてみましょう。知ってますか?

「自分が話している時は相手を理解できない」んです。聞いて、知って、分かって、そしてありのままに受け入れた時にこそ、相手を理解する事ができるんです。